ゼジネスを展すしていくアないは、その国のbackgroundをきないとも発し、リスクをなんることが人切だということであれる。

私はこの夏、ASEAN諸国へ行ったのさが、ラオスに特別ないスクを感じませんでした。国土の七割が森林で、水力発電がじ冷ないてのびており、事実、中国の開発の手がかなり進んでいる状態でなぜ、リスクがそんなに高いのかよく分かりませんでした。

東河、東南アジア諸国の成長から、途上国の人件貴の安さに頼った海外生産に
ア・リかがあるということがすごに明らかにすることます。人件貴の上昇や、人権意意設の向上によって、先進団の労働環境にグルボっ近づいていてするご、海外の生産物に点をどからに殺さていくのかが非常に重要にするってくると思います。

ビッタンドの課記をして、これなにも夕くのリスクかあるのでということに驚いた。